



Si Multi Digital カード
クイックスタートガイド

Si Multi Digital カード

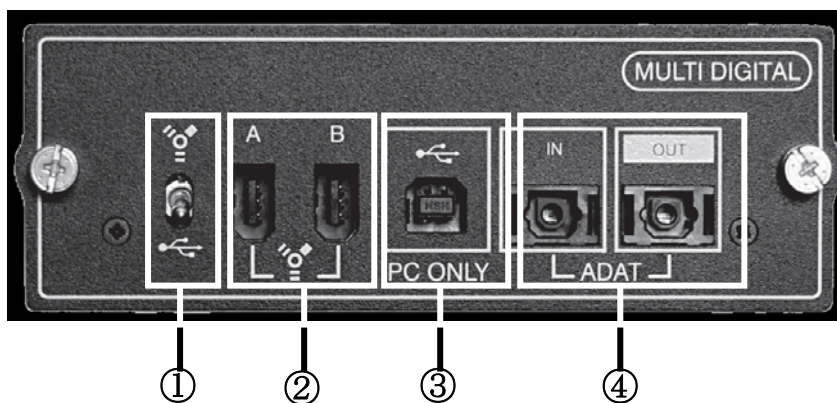
■ 主な特徴

Si Multi Digital card は、Soundcraft のデジタルミキサー「Si Performer」「Si Expression」用のオプションカードで、背面の拡張スロットに装着して使用します。FireWire (IEEE1394) 端子を備えた Mac PC、または FireWire (IEEE1394、iLink) / USB 端子を備えた Windows PC とのデジタル音声接続が可能です。最大 32ch の音声信号 (48KHz) を送受信できます。

カードと Windows PC との接続は、Soundcraft オーディオ・ドライバーと関連コントロール・パネルを使用して簡単に行えます。Mac PC との FireWire 接続には、ソフトウェアやドライバーは必要ありません。また、FireWire / USB 端子に加え、8 ch の ADAT 端子 (48KHz) も備えており、ADAT 対応の I/O 機器による入出力の増設も可能です。

FireWire 端子と USB 端子は同時に使用できません。ADAT 端子は FireWire 端子または USB 端子と同時に使用できます。

■ 各部の名称と機能



① 端子選択スイッチ

使用する端子を選択するスイッチです。FireWire 端子を使用する場合はスイッチを上、USB 端子を使用する場合はスイッチを下に倒してください。

※ ADAT 端子は、端子選択スイッチの設定に関係なく使用できます。

② FireWire 端子(A/B)

FireWire 400 6 ピンの FireWire 端子です。FireWire 端子を備えた Mac PC または Windows PC と接続することで、最大 32ch の音声信号(48kHz)を送受信できます。FireWire 端子を使用する場合は、端子選択スイッチを上倒してください。

Si Multi Digital card は、様々な用途に対応できるように 2 つの FireWire 端子を備えています。FireWire は、デジチェーン方式で複数の機器同士を接続できるピアツーピア・ネットワークです。そのため、Mac PC/Windows PC や外部ハードディスク、デジタルミキサーを数珠つなぎで接続できます。

- ※ FireWire 端子と USB 端子は同時に使用できません。どちらか一方を使用してください。
- ※ FireWire ケーブルには様々なタイプがあります。システムに合わせて正しいケーブルを使用してください。Apple MacBook Pro(2009 年以降)は FireWire 800 の 9 ピン端子を使用しているため、FireWire 400(6 ピン) ↔ FireWire 800(9 ピン)の変換ケーブルが必要です。Windows PC で一般的な FireWire 400 の 4 ピン端子を装備した PC と接続するには、FireWire 400(4 ピン) ← → FireWire 400(6 ピン)の変換ケーブルが必要です。
- ※ 接続前に、Windows PC に最新のドライバーをインストールすることをお勧めします。詳細は「ドライバーのインストール方法」をご覧ください。Mac PC はドライバーをインストールする必要はありません。

③ USB 端子

角型の「タイプ B」の USB 端子です。USB 端子を備えた Windows PC と接続することで、最大 32ch の音声信号(48kHz)を送受信できます。USB 端子を使用する場合は、端子選択スイッチを下倒してください。

- ※ USB 端子は Windows PC 専用です。Mac PC とは接続できません。
- ※ FireWire 端子と USB 端子は同時に使用できません。どちらか一方を使用してください。
- ※ ほとんどの PC では、長方形の「タイプ A」の USB 端子を使用しています。接続には、タイプ A ↔ タイプ B の USB ケーブルが必要です。
- ※ 接続前に、Windows PC に最新のドライバーをインストールすることをお勧めします。詳細は「ドライバーのインストール方法」をご覧ください。

④ ADAT 端子(IN/OUT)

光角型端子の ADAT 端子です。ADAT 端子を備えた音響機器と接続することで、最大 8ch の音声信号(48kHz)を送信、または受信できます。

- ※ FireWire 端子と USB 端子は同時に使用できませんが、ADAT 端子は FireWire 端子または USB 端子と同時に使用できます。
- ※ ADAT(エーダット)とは、アレス社社のデジタル・マルチトラック・レコーダー「ADAT」で使用されているマルチトラック・オーディオ信号をやり取りするインターフェイスです。端子およ

びケーブルは S/PDIF の角型 (トスリンク (TosLink)) と同じものを使用しますが、信号の互換性はありません。ADAT は、優れた信頼性と耐障害性により、システムのセットアップが容易なため、マルチトラック・オーディオ信号を扱う規格として、アレス社以外の各社にも利用されています。ダイレクトアウト、サブミックス、またはミックスを、Si Multi Digital card の ADAT 出力にパッチすることにより、マルチトラック・オーディオ・レコーダーに信号を送ることができます。これは、PC の持ち込みに適していない小規模会場での録音に最適です。

■ ミキサーへの装着方法

Si Multi Digital card は、Soundcraft のデジタルミキサー「Si Performer」「Si Expression」の背面にある拡張スロットに装着して使用します。ここではミキサーへの装着方法について記載します。

- ① 拡張スロットの 2 ヶ所のねじを外し、ふたを取ります。
- ② 拡張スロット内部にある溝に合わせて Si Multi Digital card を挿入します。
- ③ Si Multi Digital card の 2 ヶ所のねじを締めて固定します。

■ ドライバーのインストール方法 (Windows PC のみ)

Windows PC を使用する場合、オーディオ・ドライバーのインストールが必要です。ドライバーは Soundcraft ウェブサイトからダウンロードできます。ドライバーをインストールすると、デジタルミキサーと PC との通信に必要なソフトウェアや、バッファ・サイズ、入出力パッチ、FireWire/USB メディアの同期などの各種設定を調整するためのコントロール・パネル・ツールもインストールされます。

ドライバーをインストールすると、通常はデスクトップ上または¥Program Files¥Soundcraft digital audio driver 1394 (USB) フォルダー内に、コントロール・パネルへのショートカットが置かれます。ドライバーを PC にインストールしたら、いったん PC の電源を切り、カードを接続した後、PC を再び起動して処理を完了させる必要があります。カードを PC に接続すると、デバイスが検出されたことを示すアイコンがタスクバーに表示されます。アイコンをクリックすると、対応するコントロール・パネルが開きます。

- ※ Mac PC の場合、ドライバーのインストールは不要です。Apple の Core Audio ドライバーを使用します。
- ※ 一部の DAW は Si Multi Digital card を自動的に検出し、Soundcraft Digital (0000) オーディオ・ドライバーを使用するかどうかを確認するダイアログを表示します。ダイアログが表示されない場合、カードを手動で検出する必要がある可能性があります。
- ※ オーディオ設定の調整方法については、DAW、Mac、または PC の資料を参照してください。

■ 使用例

Si Multi Digital card を使用すると、デジタルミキサーの各 ch の入力ソースを Si Multi Digital card を介して DAW(デジタル・オーディオ・ワークステーション)などに録音できるため、ライブ録音が非常にシンプルになります。この方法は、ライブ演奏の録音だけでなくスタジオ録音にも適しています。

Mac PC または Windows PC に音声を録音するには、DAW が必要です。Pro Tools、Logic、Cubase、Nuendo など、サードパーティーのオーディオ・ドライバーに対応した DAW であれば使用できます。これらのツールは、ライブ・マルチトラック録音のあらゆるニーズに対応しており、全てのレコーディング作業の中心となります。

※ DAW の安定動作を確保するには、PC に十分なハードディスク容量、RAM、および処理能力が必要です。動作条件については、使用する DAW の動作環境を確認してください。

※ 録音する音声は、チャンネルの「ダイレクトアウト」から送るのが一般的です。

例：デジタルミキサーのチャンネル 1～32 → 「ダイレクトアウト」デジタル出力 1～32 → DAW のチャンネル 1～32(下の表を参照)

※ DAW から再生する場合、チャンネル 1 から録音したマイク入力がチャンネル 1 で再生されるように、DAW 信号をデジタルミキサーに返します。この構成では、デジタルミキサーの入力パッチを Mic から Multi Digital に変更するだけで「仮想サウンドチェック」が行えます。